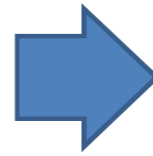


# 平成30年度 学力向上に向けた検証改善シート

尾道市立 因島南中学校

## 1 課題

全学年において基礎基本の定着を目指す。また思考力や活用力を伸ばす授業改善に努め、思考問題や活用問題の正答率の向上を目指す



## 2 めざす姿

- ・授業において自ら主体的に学び考える学習姿勢
- ・家庭学習が定着し確実に宿題が提出できる
- ・南中タイムやテストなどで基礎基本が定着している

## 3 めざす姿に向けた取組の具体

1学期の取組	検証	2学期の取組	検証	3学期の取組	検証
家庭学習と南中タイムをリンクさせる南中学びのサイクルの実践(南中タイム合格率90%以上)  定期的英語の基本文型テストの実施(定着率70%)  定期的な国語基本テストの実施(定着率70%)  定期的な基本計算テストの実施(定着率70%)	家庭学習と南中タイムをリンクさせる学びのサイクルを進めていった。南中タイムの1学期の平均合格率が80%であった。合格率が上がるように取り組みを強化して進める。  定期的英語の基本文型テストの実施した結果定着率は74%であった。年度当初計画した全校体制の取り組みを進める。  定期的な漢字テストの実施した結果定着率は84%である。毎日の練習とその提出率の向上を図る。  定期的な基本計算テストの実施した結果定着率85%であった。個別の補習を充実させる。	家庭学習と南中タイムをリンクさせる南中学びのサイクルの実践(南中タイム合格率90%以上)  ・毎週英語の基本文型テストの実施(定着率70%) ・定期的な漢字テストの実施(定着率70%) ・定期的な基本計算テストの実施(定着率70%)  ・毎週末の提出物の徹底(100%) ・個別学習の面談の実施(家庭学習・授業規律・相談等)による学習の意識づけ ・考える場を工夫した授業改善の実施(授業参観月間による授業研究等) ・他校への視察等による授業力の向上、全体への還元		・家庭学習と南中タイムをリンクさせる南中学びのサイクルの実践(南中タイム合格率90%以上) ・課題となる問題について個別補習の実施(2週間に1回以上) ・学びのサイクルの取組後問題の抜粋  ・毎週末の提出物の徹底(100%) ・個別学習の面談の実施(家庭学習・授業規律・相談等)による学習の意識づけ ・考える場を工夫した授業改善の実施(授業参観月間による授業研究等) ・他校への視察等による授業力の向上、全体への還元	

## 4 取組の結果

### 1年生 市学力調査(4月)

教科	国語(基礎)	国語(活用)	数学(基礎)	数学(活用)	理科(基礎)	理科(活用)	社会(基礎)	社会(活用)
結果(対県比%)	101.0	94.1	95.3	90.4	99.3	94.4	88.4	100.2

### 2年生 全国学力・学習状況調査プレテスト

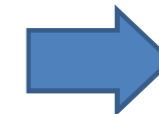
教科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
目標値(対県比%)					
結果(対県比%)					

### 3年生 全国学力・学習状況調査(4月)

教科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
目標値(対県比%)	98	98	98	98	98
結果(対県比%)	97.4	100	93.9	95.7	90.9

### H31 全国学力目標値

(対県比%)	100%
--------	------



市学力調査

全国学力・学習状況調査

各学年における検証改善サイクル スケジュール ～学力調査等との関連から～

尾道市立因島南中学校

H29学年	1月	2月	3月	H30学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H31学年
				小1													小2
小1				小2													小3
小2				小3													小4
小3				小4													小5
小4				小5													小6
小5				小6													中1
					5/21・22 中間試験		6/28～30 期末試験				10/11・12 中間試験		12/28～30 期末試験		1/23～25 学年末試験		
小6				中1	● 4/12市調査			② 基礎・基本の定着及び課題改善に向けた取組									中2
								① 実態把握と分析 → 研修(7,9,12月)					③ 課題解決に向けた基礎基本の定着の徹底と授業改善の着実の実施				
中1				中2		● 6/12「基礎・基本」		② 基礎・基本の定着及び課題改善に向けた取組									中3
								① 実態把握と分析 → 研修(7,9,12月)					③ 課題解決に向けた基礎基本の定着の徹底と授業改善の着実の実施				
中2				中3	● 4/17「全国」調査			② 基礎・基本の定着及び課題改善に向けた取組									
								① 実態把握と分析 → 研修(7,9,12月)					③ 課題解決に向けた基礎基本の定着の徹底と授業改善の着実の実施				
中3																	
				学年部					実態把握に基づき補習計画作成	授業改善の推進 個別補習の取り組み	取組の実践と徹底	思考力・活用問題の実施					めざす児童生徒の姿の達成
				研究主任				スケジュール作成 研修方法確認	実態を踏まえた改善案の作成	校内研修の計画	アンケートの実施による取組の検証(11月末)	校内研修取組の検証と方向性の確認	アンケートの実施による取組の検証(2月末)			次年度の目標の設定	
				教務主任				学力実態の紹介と分析 進捗管理	改善案の周知 進捗管理	改善案の周知 進捗管理	改善案の周知 進捗管理	主任会において2学期の取組の成果と課題をまとめる	進捗管理 年度の取り組みの検証と次年度の課題とりまとめ				
				教頭				経営会議で年度末までの各部の取組について検証	スケジュール管理	全体計画の企画立案	全体計画の企画立案	2学期の取組の検証と今後の方向性指示 全体計画の企画立案	3学期の取組の指示 全体計画の企画立案	すべての統括と次年度の方向性指示			
				国語				課題となった設問、領域等の改善に向けた授業改善	課題となった設問、領域等 全国学力 国語 領域(話す・聞く) 正答率(60.9) 無答率(20.3) 数学 領域(変域) 正答率(48.6) 無答率(17.1) 理科 領域(電気) 正答率(48.6) 無答率(20.0)		<具体策> 話し合いの話題や方向を捉えて的確に話すことについて課題がある。聞いて答えることや聞き取り問題に取組む	<定着に向けて> 取り組みを進めるなかで聞き取り問題の正答率を80%を超える。					
				社会				市の学力調査分析				<具体策> 歴史用語の理解が課題である。用語を漢字で書くことを徹底して何が起ったかをSW1Hを基本に説明できるように取り組む。	<定着に向けて> 歴史用語を漢字で書けるようにすることで意味の理解が進む。用語に対していつ・誰が・何をしたという形で確認することで定着を目指す。				
				数学				課題となった設問、領域等の改善に向けた授業改善	市学力調査 国語 領域(読む) 正答率(44.9) 無答率(11.8) 数学 領域(資料) 正答率(54.9) 無答率(14.0) 理科 領域(生物) 正答率(27.9) 無答率(14.8) 社会 領域(歴史) 正答率(24.7) 無答率(29.8)		<具体策> グラフのxの変域に対応するyの変域を求めることに課題がある。グラフの読み取りと変域を求めることを継続して行う。	<定着に向けて> グラフを読み取ったり、書いたりの中で具体物や活用を中心に取組む。具体物には変域がある場合が多く、変域を体感できるようにする。					
				理科				市の学力調査分析				<具体策> 電気回路の理解が課題である。回路図を読み取ったり書いたりする。並列や直列の違いによるオームの法則を使えるようにする。	<定着に向けて> 回路図を書くことで直列と並列の違いを確認する。回路によって電流・電圧・抵抗の関係が変わるので、オームの法則を定着できるようにする。				
				英語								<具体策> 基本の単語・文型の定着を図るため繰り返し基本テストを実施する。ペアやグループで対話をする場面を多くする。	<定着に向けて> 基本の繰り返しテストで定着が不十分生徒には個別の補習を行う。				

## 方策進行管理シート

平成30年度 尾道市因島南中学校

	目標達成のための方策	活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	活動達成度	方策達成度	取組評価
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
			達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率			
①	実態把握と分析	結果分析を推進するとともに、研修をもち、結果を周知する。また、分析後の取組の進捗を研修で確認する。	/	/	/	分析・研修 1回	/	研修 1回	/	/	研修 1回	/	/	/			
②	基礎・基本の定着及び課題改善に向けた取組	家庭学習とつないだ「南中タイム（前週の学習内容の確認テスト）」の実施する。	/	平均合格率 80%	平均合格率 80%	平均合格率 80%	/	/	平均合格率 80%	平均合格率 80%	平均正答率 90%	平均正答率 90%	平均正答率 90%	平均正答率 90%			
			83	79	—												
		定着が不十分な生徒に対する「再テスト」「学習支援」を実施する。	/	月2回	月2回	月2回	/	/	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回	月2回			
			2	2	0												
		授業で英語の基本文型・漢字・基本的な計算のテストを定期的実施する。	/	定着率 70%			/	定着率 70%			/	/	/	/			
		英74%	国84%	数85%				英	国	数							
	課題となる問題について個別補習の実施（2週間に1回以上）・学びのサイクル取組後の問題の抜粋	/	/	/	/	/	/	/	/	/	個別補習（2週間に1回程度）						
③	課題解決に向けた基礎基本の定着の徹底と授業改善の定着の実施	毎週末の提出物の徹底（毎週金曜日を基本に、提出物が出ていない生徒を残し、提出させる取組を実施する。）	/	/	/	/	/	/	提出率 100%			提出率 100%					
			/	/	/	/	/	/	1年	2年	3年	1年	2年	3年			
		個別学習面談の実施〔家庭学習・授業規律・相談等〕による学習の意識づけ（2学期半ばを中心に、学年ごとに学習面談を実施する。）	/	/	/	/	/	/	/	面談の実施	/	/	面談の実施	/			
		考える場を工夫した授業改善の実施〔授業参観月間による授業研究等〕（教職員による授業参観月間を設定し、「考える場を工夫」した授業を見合う。）	/	/	/	/	/	/	/	授業参観月間の実施	/	/	同実施	/			
	他校への視察等による授業力の向上、全体への還元（若手教員を中心に、2学期、1人1回以上、他校の研究会に参加する。）	/	/	/	/	/	/	4年目までの教員100%			/	/	/				

【取組評価】 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60